

学校法人 松樹学園

# 信州介護学校通信



## けい しん さい 繋 心 祭

今年の繋心祭のテーマは「繋心祭～もっと知ろう もっと交流しよう～」でした。子どもから大人まで地域の皆様に繋心祭を通して介護について知ってもらい、交流することを目標に、今年はバスボム作り、ポッチャ・ヒッパリタマトバシ、車いす体験の3つのブースを設けました。ブースだけでなく、介護予防についての展示やハロウィンにあわせて校内の装飾も工夫しました。今年の繋心祭は500人以上の方が来場してくださり、子どもから大人まで多くの方に楽しんでいただきました。（実行委員長：2年 勝山 瑚雪）



### バスボム作り

『日々の入浴にちょっとした工夫で楽しみを』  
私たちは今回小学生以下を対象にバスボム作りを行いました。実際に自分でバスボムを作ることで、より日々の入浴に楽しみが生まれたと思います。また入浴の効果も学べたのではないのでしょうか。体験した子どもの中には「楽しい」「もっとやってみたい」という声もあり、企画してよかったと実感しました。  
（担当：2年 櫻井 愛弓）



### 車いす体験

来場された方々に、学生が車いすの操作方法を説明した後、可愛い「ミニオン」で飾りつけたいろいろなコースで車いすの介助や試乗の体験をしていただきました。車いすを自分で動かす方、ご両親が乗った車いすをお子さんが押すなど多くの方が参加されました。「車いすの方は大変ですね」「初めて乗ったけど怖かった」などたくさんの感想をいただき嬉しかったです。（担当：2年 田中 愛理）



### ポッチャ・ヒッパリタマトバシ

今年の繋心祭ではパラリンピックの競技にもあったポッチャと、子どもから高齢者の方も楽しめる遊びのヒッパリタマトバシを行いました。体験してくださった方からポッチャでは「初めて知ったけど面白い」ヒッパリタマトバシは100円ショップで買ったもので作れるので、「家でも作ってやってみたい」と言ってくれました。（担当：2年 飯島 大空）



### ハッピー・ハロウィンinしおじり

10月26日(土)、ハッピー・ハロウィンinしおじりのトリックオアトリートに参加しました。当日は天候にも恵まれ、大勢の方が仮装をして大門商店街を歩く姿がありました。本校のブースにも多くの子どもたちが仮装をして並んでくださいました。学生が「ハッピー・ハロウィン！」と子どもたちに優しく声をかけ、お菓子を渡す姿が印象的でした。



## 認知症サポーター養成講座

5月31日（金）関連法人の平成会様より外部講師を2名お招きし、1年生を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。座学とはまた違う視点でお話をしてくださり、認知症についての理解を深めることが出来ました。講師の方々による寸劇も行われ、学生は食い入るように観ていたのが印象的でした。



## 大門三番町ミニデイ参加

6月19日（水）昨年につき、地元の大門三番町より声をかけていただき、1年生がミニデイで介護予防を取り入れたレクリエーションを企画して参加しました。運動機能や認知機能の向上に効果のある遊びをどのようにしたら楽しんでいただけるか、2ヶ月程かけて試行錯誤を重ね、工夫してきました。参加された地域の皆様と心と体を動かし温かい時間を共有することができました。



## 実習交流会

6月25日（火）初めて介護実習に向かう1年生の不安を解消するために、2年生の経験を伝える場として実習交流会を開催しました。前半は、少人数で話す機会を設定し、はじめは緊張していた1年生も徐々に打ち解け、不安なことを熱心に聴く様子がみられました。後半は、学校生活について話すことができる時間もあり、和やかな雰囲気の中で交流しました。



## 玄蕃まつり

7月27日（土）塩尻玄蕃まつりに松樹学園の連として参加をしました。他にも数多くの連が参加し、お祭りを盛り上げていました。信州介護福祉専門学校と信州リハビリテーション専門学校の学生と教職員で心をひとつにし、最後まで踊りきることが出来ました。昨年度の最優秀賞受賞とまではいきませんが、優秀賞を頂きました。ひと夏のいい思い出になりました。



## 信州介護 夏の陣！

8月9日（金）にユメックスアリーナで信州介護夏の陣！を開催しました。競技内容は、バレーボール、バドミントン、障害物競走です。バレーボールは、チームごとに声を出し合っても盛り上がった試合でした。バドミントンでは、ダブルスのルールで7ペアで競い合いました。ペア同士でお互い声を掛け合って、勝利を目指して協力する姿が見られました。障害物競走では二人三脚、紙コップタワー、ピンポン玉リレー、跳び箱、マット、借り人競争を行い、二人ペアでゴールを目指しました。お互いの思いがなかなか合わない時もある、苦労している場面もありましたが、息の合わせ方など、それぞれ工夫して頑張る姿が見られました。1年生も2年生も笑顔が多く、より一層交流を深められたと思います。

（実行委員長：2年 千野 結菜）



## 手話講座

9月20日（金）共生社会実現のための手話講座が行われました。外見からわからない障がいは理解されにくく、また聞こえの程度はさまざまで一人ひとり違うこと、必要な配慮や、コミュニケーション方法を学びました。講座の最後には「手話」で簡単な挨拶を実践し、真剣に取り組む様子がみられました。



## 救命講習

9月27日（金）塩尻消防署による普通救命講習会が行われました。今年は本校の実習室で2名の救急救命士の方に講習をいただきました。消防署員の方々が行う救命救急はとても迫力があり、学生も引き込まれ真剣に講習を受けていました。何もないことが一番ですが、何かあっても人の命を少しでも守れるように学ぶことができました。焦らず、的確に命を守る方法を忘れずにいてほしいと思います。



## 防災訓練・危機管理講話

毎年本校では、年2回の防災訓練と危機管理講話を実施しています。各方面での専門分野の先生により、防災講話では地域の防災や緊急時の通報の仕方、危機管理講話では、交通講話の他にSNSの使い方や闇バイトについてのお話をうかがいました。災害やトラブルは、日頃からの備えや知識が大切であることを実感する時間となりました。



## 介護百人一首・ケアコン

NHK主催の介護百人一首に2年生20名が実習を終えて感じたことを応募してみました。ほほえましい高齢者とのやり取りがみられ温かい首が多かったです。入賞すれば冊子に掲載されるのですが…。また、実習の振り返りとして、一つのエピソードについて話し合い実践したことなどを、第5回長野県介護技術コンテスト2024に応募しました。残念ながら参加賞のみですが、良い経験になったと思います。



## 出前講座

本校では今年度、地域の方々への無料の「出前講座」を開講し、塩尻市内の小学校や地区からの申し込みにより、教員が数回の講座を実施しました。講座は「高齢者」「介護予防」「自助」「多様性」などさまざまな内容、年代に応じたものを準備しています。塩尻地域の皆様や学校で活用していただくことで「介護」や「福祉」について知っていただき、共生社会実現の一助となればと考えております。



## 介護福祉士国家試験に向けて

第37回介護福祉士国家試験に向けて、各教科で国家試験対策の授業を行っています。国家試験に向けての模擬試験も1年次から現在まで9回行っています。模擬試験でよい点が取れても当日に向けて、ゆるぎない自信になるように日々基礎力を付けられるように模擬試験に解説を入れながら、振り返りを行っています。介護福祉士国家試験までもう少しです。体調を整えてしっかり臨みましょう。



# 令和6年度学校自己評価結果について

学校長 山下 科子



学校自己評価とは、教職員自身が学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況を評価するもので毎年上半期後に実施しているものです。同時期に、「学生アンケート」や「保護者アンケート」も行い、これらの評価の結果を踏まえて、学校運営・教育活動を見直し検討をしております。今後も本校の教育活動に対して御理解いただきますと共に今後も御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 1. 自己評価の結果の概要

「教職員による自己評価」の分野別平均値は、以下の通りです。

<自己評価結果集計表>

( ) 内は令和5年度数値

分野	評価値	分野	評価値
1 教育理念・目標・人材育成等	3.22(3.00)	6 教育環境	3.55(3.33)
2 学校運営	3.17(2.96)	7 学生募集と受入れ	3.58(3.60)
3 教育活動	3.61(3.27)	8 財務	3.58(3.00)
4 教育成果	3.33(3.33)	9 法令等の遵守	3.59(3.45)
5 学生支援	3.18(3.09)	10 社会貢献	3.50(3.30)
		全体平均評価	3.43(3.23)

評価方法…4段階(4:良く取り組んでいる、3:まあまあ取り組んでいる、2:あまり取り組めていない、

1:まったく取り組めていない)

## 2. 各分野に対する評価

昨年と比較すると評価結果は概ね良好となりました。「2.学校運営」「6.教育環境」につきましては、経年劣化により傷んだ学校備品、設備の入れ替えと修繕を行い教育環境の改善を実施しました。「4.教育成果」「5.学生支援」につきましては、学生の個々の多種多様な課題に対して丁寧な支援を心がけておりますが、十分ではない点もあり改善が必要であると考えられます。「7.学生募集と受入れ」に関しては「10.社会貢献」では、地域のミニデイへの参加やゼミナールで地域社会を意識する授業内容を取り入れました。

## 3. その他アンケート結果

アンケートの項目は教育活動、進路指導、教育環境等について評価していただくものです。満足度は「よくあてはまる」「まあまああてはまる」が90%以上であり概ね良い結果となっております。

【よくあてはまる・まあまああてはまる】の割合 ( ) 内は令和5年度の数値

「学生アンケート」 95% (90.5%)

「保護者アンケート」 97% (97%)

## 4. 今後に向けた取り組み

今後も地域に根ざした学校として地域活動や地域貢献に努め、併せて介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応できる介護福祉士を養成するため、学生一人ひとりの考え方や想いを尊重しつつ、「知」「技」だけでなく、その礎となる「心」を伝えながら教育活動を続けていく所存です。これからも介護教育の質の向上に向けて、教職員一同、日々研鑽に努めてまいります。

## 編集後記

信州介護学校通信をお読みいただき、ありがとうございます。今後もより良い学校教育・地域貢献を目指していきたいと思っておりますので、ご指導・ご支援くださいますようお願い申し上げます。新しい年が皆様にとりまして幸多い年でありますようお願い申し上げます。

### 【関連法人】

医療法人社団 敬仁会



桔梗ヶ原病院

社会福祉法人 平成会



有料老人ホーム せせらぎ

### 【姉妹校】

学校法人 松樹学園  
信州リハビリテーション専門学校



学校法人 松樹学園

信州介護福祉専門学校

〒399-0733

長野県塩尻市大門三番町4番24号

電話:0263-87-0015 Fax:0263-87-0016

<http://www.shinshu-kaigo.ac.jp/>



LINE



facebook



Instagram



HP